黄金バット

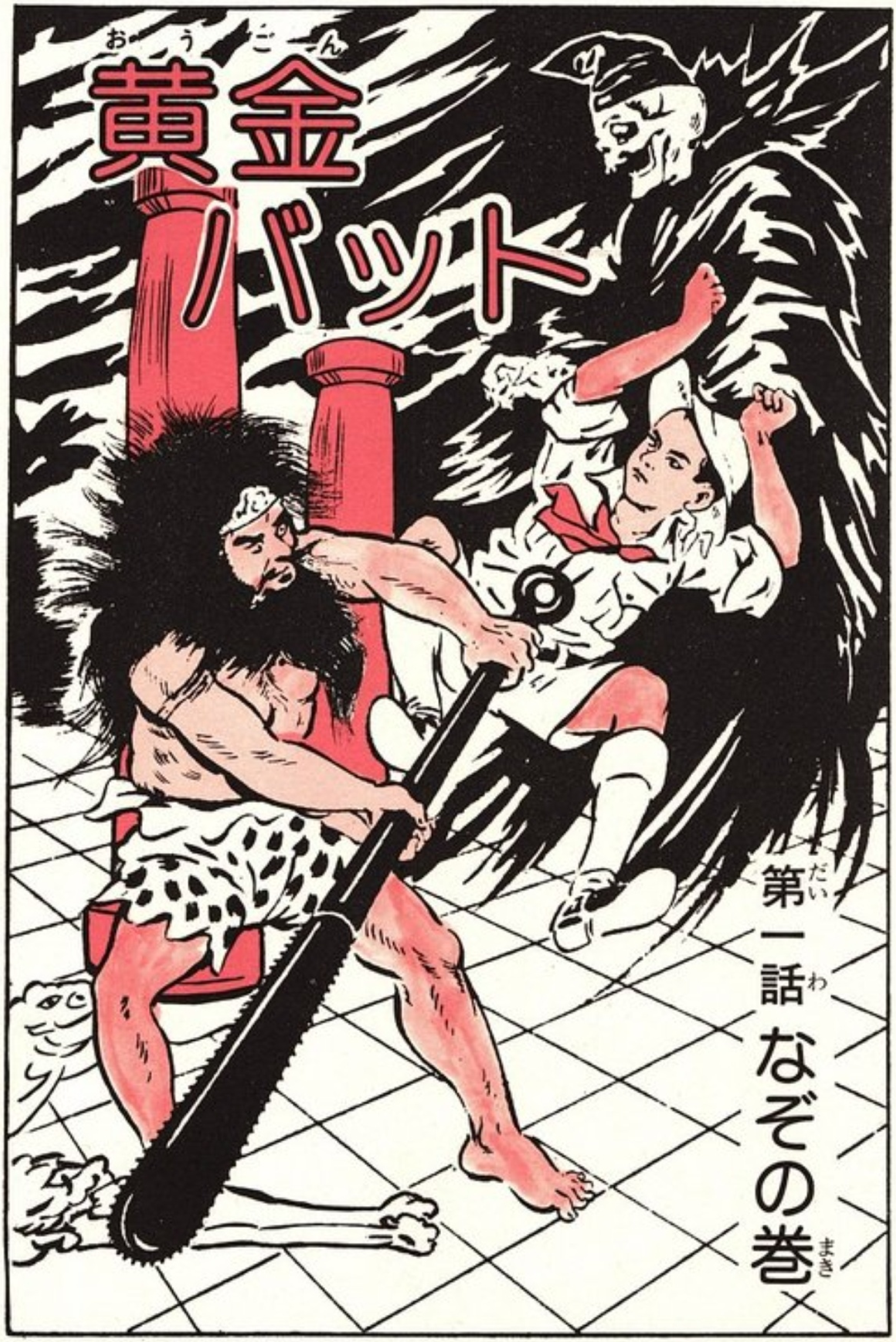
上巻



第一話　なぞの巻　第二話　地底の国〈前編〉

永松健夫

「ウワッハッハッハッ！」　高らかな笑い声とともに忽然とあらわれたのは、これぞわれらの正義の味方黄金バットだ!!　なつかしの名作、戦後初の劇画、ここに完全復刻!!


黄金(おうごん)バット
第一話(だいいちわ) なぞの巻(まき)

永松健夫と黄金バット

加太こうじ



　昭和五年、十八歳のアルバイト学生永松武雄は、東京・下谷の裏長屋に本拠をかまえた紙芝居製作所蟻友会の、新聞の三行広告による画家募集に応募して、八十数人中二人採用の難関を突破して紙芝居の絵描きになった。それまでの永松は、伯父が経営する中華ソバ製造所の配達をやりながら、芝浦高等工芸学校図案染色科へかよっていた。

　永松は蟻友会では、最初に田中次郎という紙芝居屋の台本で『魔法の御殿』『黒バット』等を描き、五年秋からは鈴木一郎の台本で『黄金バット』を描いた。鈴木一郎は本名平太朗。押川春浪の武侠小説と、アメリカ映画のロン・チャニー主演『オペラの怪人』の怪人のスタイルや、ドイツ映画『ファウスト』のエミール・ヤニングスが扮したメフィスト・フェレスの出現場面などからヒントを得て、黄金バットについての諸アイデアを作った。永松はそれを形象化したが、作者の鈴木がおどろくほどの出来ばえだった。

　永松は天才であった。染色図案をまなんでいたので、水溶性酸性染料を使って美麗な彩色をほどこした。また、少年らしい感性にあふれた各登場人物も、実によく描けていた。『黄金バット』は紙芝居を代表する作品になり、永松はたちまち紙芝居画家随一の人気を得た。そして、紙芝居屋という職業が定着した。

　永松は昭和七年に工芸学校を卒業すると、紙芝居を描かなくなって、ネクタイ会社に就職した。それで菊地広雲という老画家と、当時十四歳だった私が永松のあとの『黄金バット』を鈴木の台本で描いた。しかし、永松は紙芝居の世界が好きだったし、図案よりは人物画に興味をもったので、ネクタイ会社をやめて挿画などを描き、紙芝居画家たちの指導者になった。沈着冷静、しかも闘志あるいい指導者だった。

　なお、本書の初版本は、戦後の出版で最初の劇画本ともいえる。当時大へんな人気を呼んだものである。

（文中敬称を略しました。）


1
富士山の近くのS県のT村で……。
2
百姓がせっせと畑を耕していると……。
3
カチリとクワにあたったものがある。はて、なんだろう?
へんなものだな学校の先生さまに見てもらうべえ


4
めずらしいものを見つけたね
これは大昔の壺のかけらだよ
ああそうですか
5
この壺のかけらは大島博士の研究によって、大昔のものとわかった。
だが、その表面にきざまれた絵のような文字は、いったい何を意味するのか?解くことができなかった。
6
S県から発見された壺のかけらはひじょうにめずらしいものです
そこを新しく掘ることによってさらに新しいものが発見されることでしょう


7
S県の遺跡は新しく掘りはじめられた。
8
あっ！ 大きな穴がある
よし はいってみよう
倉田助手が穴にはいることになった。
9
かわったことがあったらツナをひっぱるよ


10
やがて穴はたて穴から
横穴になって……。
11
突然あらわれた、黒覆面の
あやしいやつ……。
倉田助手をひっとらえて、
穴の奥へはいりこんでいく。
12
ドカン!!
大きな音とともに
穴はふさがって
しまった。


13
壺をしまってあるT大学の研究室へ忍びよる黒い影。
14
いひひ これさえ 手に はいれば……
15
おや あやしい 物音……
いって みよう


16
こうもりが飛んでいく
あっ　おばけが壺のかけらを盗んだ
17
なにっ！壺が盗まれた？警察にとどけて犯人をとらえなさい
18
おばけにあのたいせつな壺を盗まれてしまったのだ


19
ここN県のK村の浜田の屋敷では。
20
これは　うちの宝物で人に売りたくないのですが
お金がいることがおこってね
でもこれはお高くはいただけませんよ
21
これはすばらしい掘り出し物だひともうけできるわい


22
やれやれ
つかれた
どれ
ひと眠りしよう
23
人形をよこせ
声をだすな
あっ
わたしますわたします
24
大木探偵に
たのんでとりかえしてもらおう


25
あやしいやつに人形をとられてしまったのです
さっそく調べてみましょう
26
気をつけていくのですよ
犯人はそうとうなんぶつだ
おとうさんと一緒に働きます
27
ふたりはT遺跡へ……。


28
よろしいよろしくたのみますぞ
犯人をつかまえるために人夫につかってください
まさるは浮浪児に変装します
29
ずいぶんうまく化けましたな
先生ぼくは浮浪児に見えますか?
30
おとうさんは小屋を注意しているからまさるはオートバイの用意をしておきなさい


31
なお発掘はつづけられていく。
32
先生　めずらしい人形が見つかりましたよ
よしありがとう小屋の中へしまっておいてください
33
小屋へしのびよるあやしい影。


34
この人形を盗んでしまえば　おかしらにたんまりごほうびがいただける


35
まさる
おとうさんはあいつをつけていくからオートバイできなさい


36
犯人のあとをつけて……。


37
悪人の家？
38
おかしら 人形をとってきました
39
いひひひひ これで宝の 謎は 全部 わかるぞ モモンガーの お熊ばあさん しっかり 解いてくれよ
はいはい 心配なし ですよ わたしに まかせて おきなさい


40
この絵文字の謎を解けるのはこのわたしよりほかにはないよいひひひひ
41
悪人どもの家だなよし中へはいってみよう
42
あやしいばばあだつかまえてやろう
これでわたしもお金持ちになれるよ


43
あやしい ばばあだ おとなしく しばられて しまえ
あれ なにを しやがる わたしは ただのばばあと ちがうんだよ
44
45


46
47
おとうさんがあぶない
48
おとうさんはやくはやく


49
あの家なら電話があるだろう
警察へ知らせましょう
50
51
悪人どもの住み家を発見しましたから
警官隊をすぐよこしてくれたまえ


52
見つけられたからあぶない家を焼いて逃げようみんなバラバラになっていけ
53
54
警官隊は黒バットを追って……。



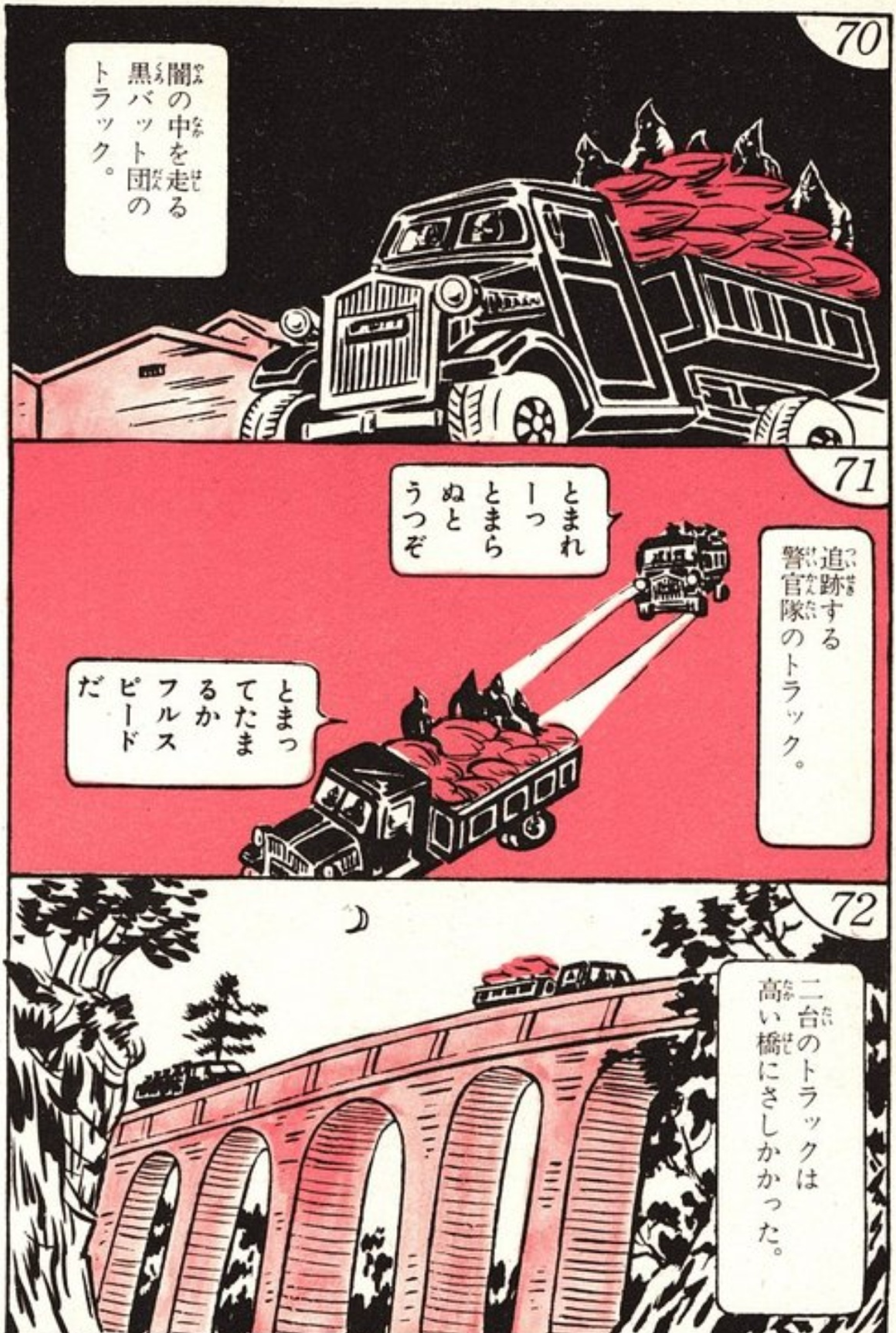
55
あっ火をつけて逃げたな！
56
ハッハいまごろ騒いでもむだだ
57
おれはブルタンクのもとをあつめていくからお光はまさるの母をつれてこい
承知しました


58
東京の夜……。T町の倉庫にあらわれた怪盗黒バット団。
59
フフフフ これさえあれば ブルタンクは できるぞ
60
ピー ピー ピー
部下を呼ぶ合図の笛は闇の中にあやしくひびきわたった。


61
倉庫の窓からあらわれた
黒バット。
62
おーい
三〜四人
のぼって
こい
63
あっ
どろぼう
黒バット団は、倉庫の番人に
見つけられた……。


64
番人をつかまえろ
65
助けてくれーい
川へほうりこんでしまえ
66


67
助けてくれどろぼうだーっ
68
おりよく通りかかった見まわりの警官。
どうしたのですか
69
すぐ本署へとどけましょう
黒覆面団が倉庫の品を盗みました


70
闇の中を走る黒バット団のトラック。
71
追跡する警官隊のトラック。
とまれーっとまらぬとうつぞ
とまってたまるかフルスピードだ
72
二台のトラックは高い橋にさしかかった。


73
石を落として道をふさげ
承知しました
74
75


76
77
逃れていく黒バット団。
78
盗んだ品物は、H山の第二の住み家にはこばれた。


79
人数を調べる あっ ひとり多いぞ
80
やっお前は大木探偵だな こんどはひどいめにあわせてやるぞ
見つかったらしかたがない黒バットのところへつれていけ
81
こいつを牢屋へ入れておけ おもしろいものを見せてやるぞ


82
奥さま探偵が悪者どもにけがをさせられました
まあ　たいへん　どうしましょう
すぐきてください
83
84
あっ！どこへつれていくの？
85
さわぐんじゃないよゆっくり眠っておいでよ


86
おかしら！つれてきました
よし 牢屋に入れておけ
87
大こうもりをつかいますよ
お熊ばあさん 牢屋へ大こうもりを入れろ
88
さあ 牢屋へいってあいつらを痛めておやり


89
90
人の血を吸う大こうもりは、ゆり子に迫っていく。
91
となりを見ろ！おまえの妻は大こうもりに殺されるぞ
助けてほしければ手むかいをやめろ

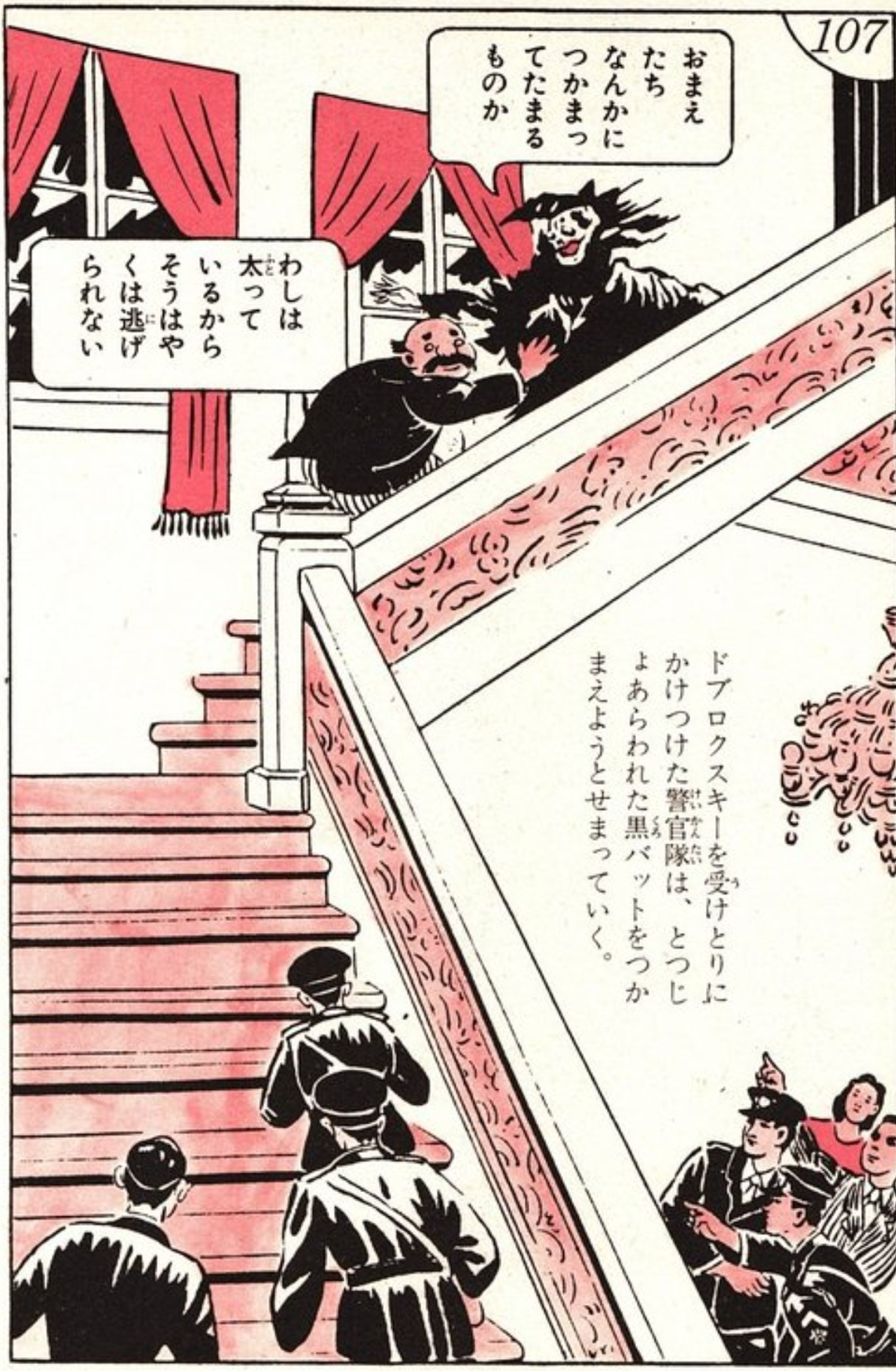

92
ブルタンクはもうできたかい
まだだよかんじんのダイヤモンドがないんだよ
ニューシティのダンス場で金持ちからとってきたらいいだろう
93
ブルタンクをはやくつくっておくれよお待ちかねだよ
ダンス会でダイヤをとってくるよ
94
じゃ　つれてってあげるから　おひげをおそりなさい
ドブロクスキー博士だってたまにはダンスにつれていってくれ！


95
G街のニューシティクラブでは、大ぜいの貴婦人や紳士たちが、ダンスの会を開いていた。
96
あなたの首かざりはずいぶん大きいですね
I国の王様からいただいたダイヤなの!
97
お熊さんだっておしゃれをすればこんなものさ
ちょっと先生電気を消してちょうだい

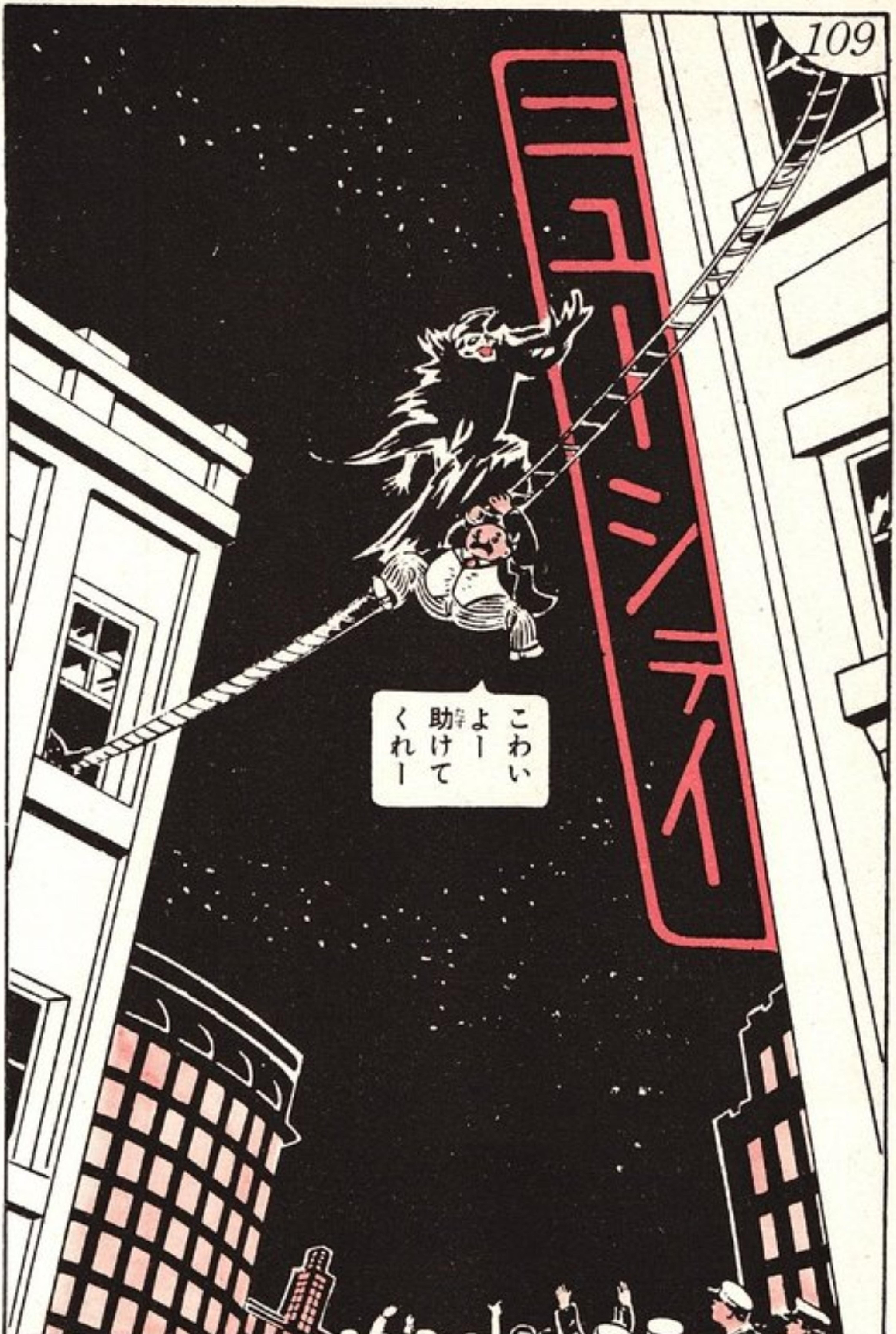

98
どうした
どうしたんだ?
電気をつけろ!
キャーッ
どろぼう!
どろぼう!
99
あっ
ダイヤがなくなっている
首かざりをとりかえして……
100
ダイヤはもらっていくよ
悪く思わないでね


101
ドブロクスキー博士をわすれていっちゃだめだよ
102
どろぼうの仲間だ
ちがうよ！わしは電気を消しただけだ
103
あーあーとんだ目にあったわいはくじょうな女どもだ
ブルタンクはつくってやらないぞ


104
105
おいおい まごまごしていては だめじゃないか
ありがとう やっぱり親分はえらいよ
106


107
おまえたちなんかにつかまってたまるものか
わしは太っているからそうはやくは逃げられない
ドブロクスキーを受けとりにかけつけた警官隊は、とつじょあらわれた黒バットをつかまえようとせまっていく。


108
黒バットは、縄ばしごをとなりの建物に
むかって投げかけた。


109
こわいよー助けてくれー


110
用意の自動車にとびのった黒バットは、かくれ家めざして逃げきった。
111
そうだよ そうして わたしたちの世界をつくらなくちゃあね
そうなりゃ あたしゃ女王さまだね
さあ はやくブルタンクをつくろうじゃないか
わしは建設大臣かな


112
各地に怪事件
黒バット團
大木探偵夫妻
行方
113
おとうさんやおかあさんは黒バットの巣窟につれていかれたにちがいないがどうやって助けだそうか
114
ぼっちゃま倉田かず子さんという方がお会いしたいそうです
ここへとおしてください


115
わたしのおにいさんがS県の発掘現場で行方がわからなくなってしまったのです
黒バットのしわざだと思います
116
一緒に力をあわせてさがしましょうまだ黒バットの住み家がわからないのです
どうぞ　おねがいいたします
117
相手はたいへんな悪者だ地主のおじさんに助けてもらうことにしましょう


118
お熊！ 壺の絵文字の 謎はわかったか それから ドブロクスキー 博士よ 機械をはやく つくってくれ
お熊さんの 絵解きで はやく その地下の 国がわかる といいわ
大木親子は うるさい から かたづけて しまい ましょう
じゃまを するやつは みんな かたづけ るのだ
そうなれば われわれは みんな大金持ちに なれますね


ブルタンクやLB光線はもうすぐできるわいできたらひとあばれしようかな
あいよいま調べているところだよ大昔の人が地下にりっぱな国をつくっているらしいね宝ものもかくしてあるらしいよ
なあに大木探偵などは大こうもりにやられているよ


119
お熊は岩屋の中へ……。
われわの守り神モモンガーさまどうぞ謎の文字の秘密をおあかしくださいませ
120
火を燃やせ猫の皮をその火の上であぶるがよい
はいありがとうございますなむアブダラ
121
モモンガーさま猫の皮を持ってきましたさっそく火を燃やしましよう

燃える炎に猫の皮をあぶれば、うっすらとうつりだす……いろいろの文字。





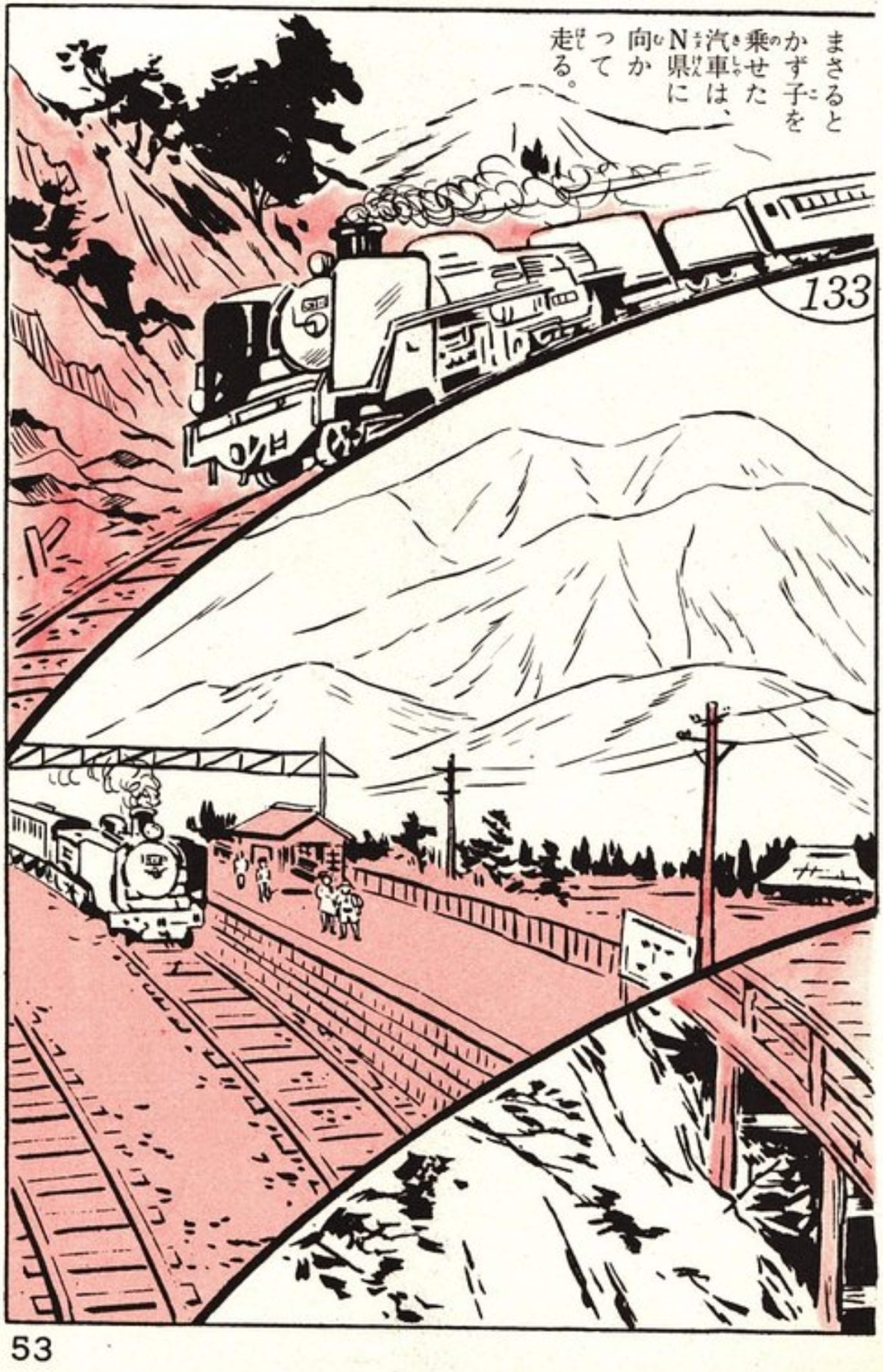
アラ！　不思議、猫の皮にありありとうつる謎の文字の読みかた。喜ぶお熊ばあさん。




125
モモンガーさまのおかげで絵文字の謎を解く字引きができたというわけさ
126
イヒヒヒヒ　ありがたいね　壺や人形の文字をみんな集めると謎がすっかりわかるのだよ
127
モモンガーお熊がとりだす鏡の上に……
絵のような文字は大きくうつしだされて……。


128
あれまあ！　地下国のありかも宝もののあり場所も
すっかりわかるよ　ありがたや　ありがたや
129
130
親分地下の国に行く入り口がわかったよ
それはありがたいほめてとらせるぞよ、

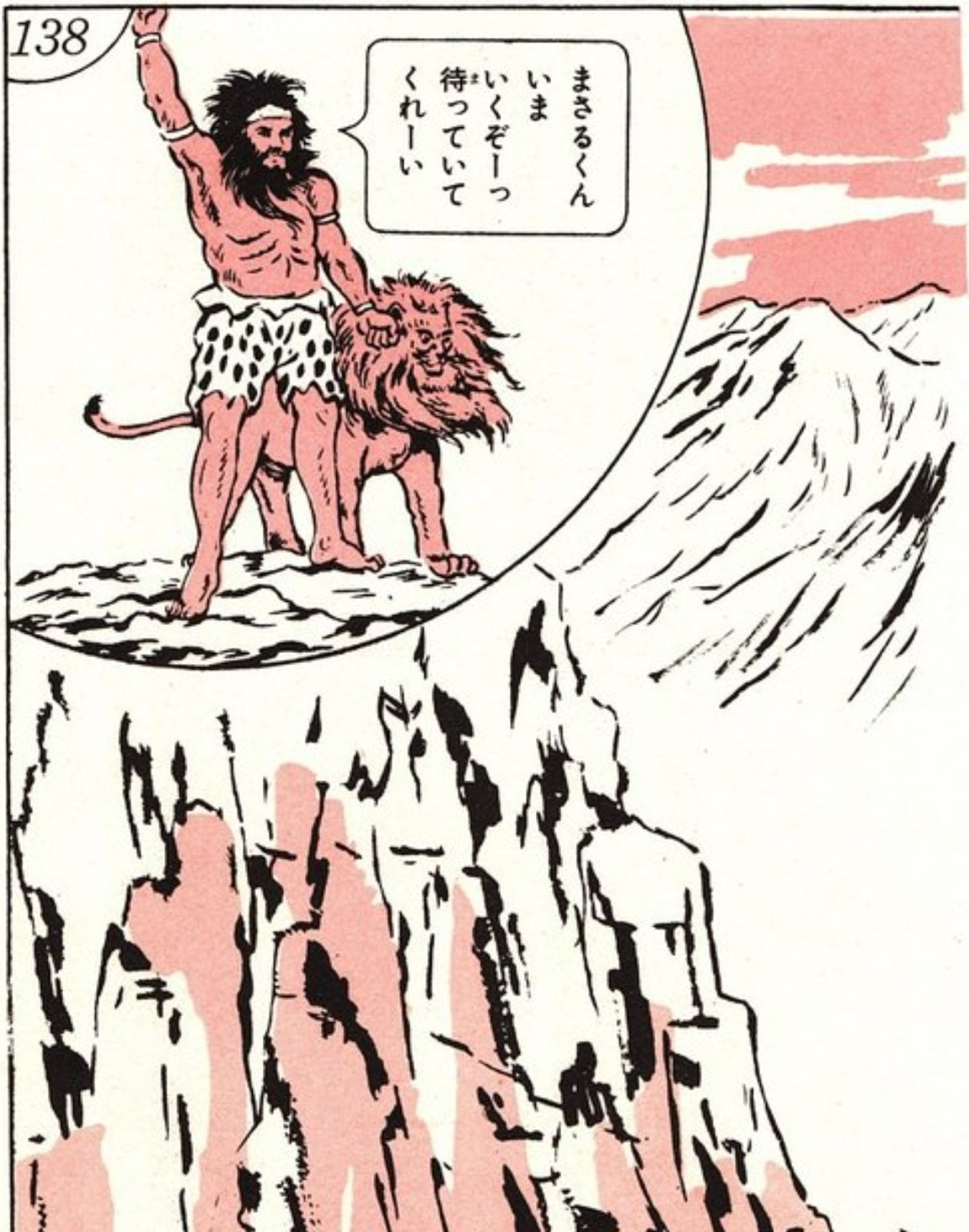

131
132
蛇王のおじさんはそんなに強いの？
強いとも！黒バットなんかペシャンコに負かしてしまうよ
134


まさるとかず子を乗せた汽車は、N県に向かって走る。
133

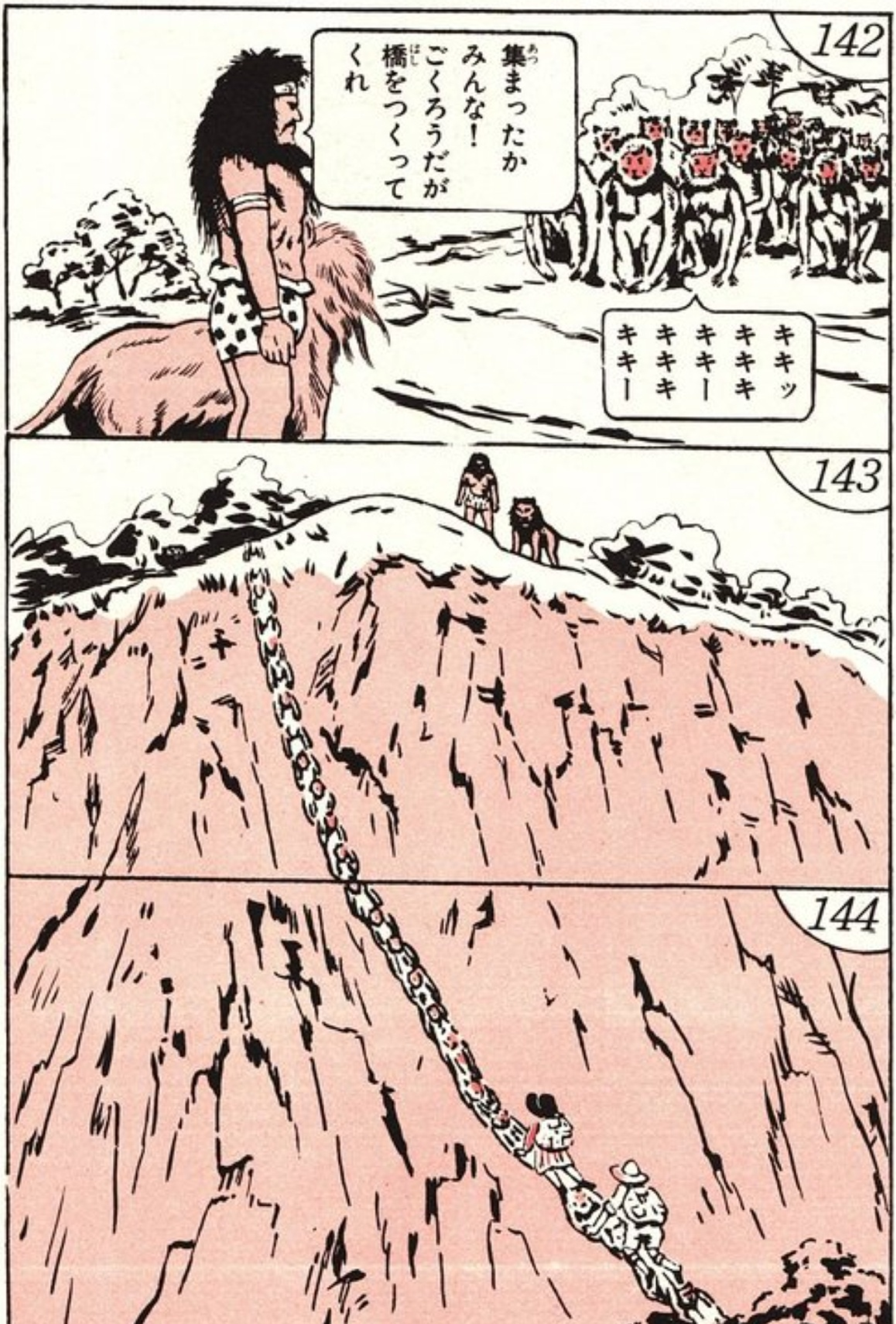

135
さあもうすぐ蛇王おじさんのところへ行けるよがんばってくれたまえ
ずいぶんけわしい山の中にいるのね


136
蛇王おじさーん 蛇王さーん
もう道がなくていけないわ


N県H山のいただきに、ライオン朝日号をつれた蛇王は、そのいさましい姿をあらわした。
137
蛇王さーん まさるが きましたよ
あら 蛇王さん らしい人が 見えましたわ


138
まさるくん
いま
いくぞーっ
待っていて
くれーい


139
朝日号よ猿どもを集めてくれ
140
朝日号は一声高くいななくと、さっと風をきってかけだした。
141
蛇王のおじさん橋がなくていけないよーっ！


142
集まったか
みんな！
ごくろうだが
橋をつくって
くれ
キキッ
キキキ
キキー
キキキ
キキー
143
144


145
なに！ 黒バットに！ よし 助けにいこう かず子くん あぶないから残っていたまえ
蛇王のおじさん おとうさんたちが黒バットにさらわれて あぶないのです
146
よーし 黒バットをこの鉄棒でうちたおしてやるぞ


147
「ウオーッ」「ウオーッ」とうなり声もいさましく、ふたりを乗せて、朝日号は、風をきってまっしぐらに黒バットの巣窟をめざして……。


148
ふたりとも強情だわい
大木たちはまだまいらないか? はやくかたづけてしまえ!
149
そうそう かたづけておいてから地下国へうつろうかい あとで またじゃまをされるとうるさいからね
150
おい まだへこたれないのかい いよいよ今度はおまえたちの命をもらうよ
おまえたちのような悪人にけっして負けませんよ


151
じたばたさわぐとこうもりさまがこまるよおとなしくしばられてしまいな
152
153
おまえの奥さんはまいった!はやくおまえもこうさんおしよ


154

155

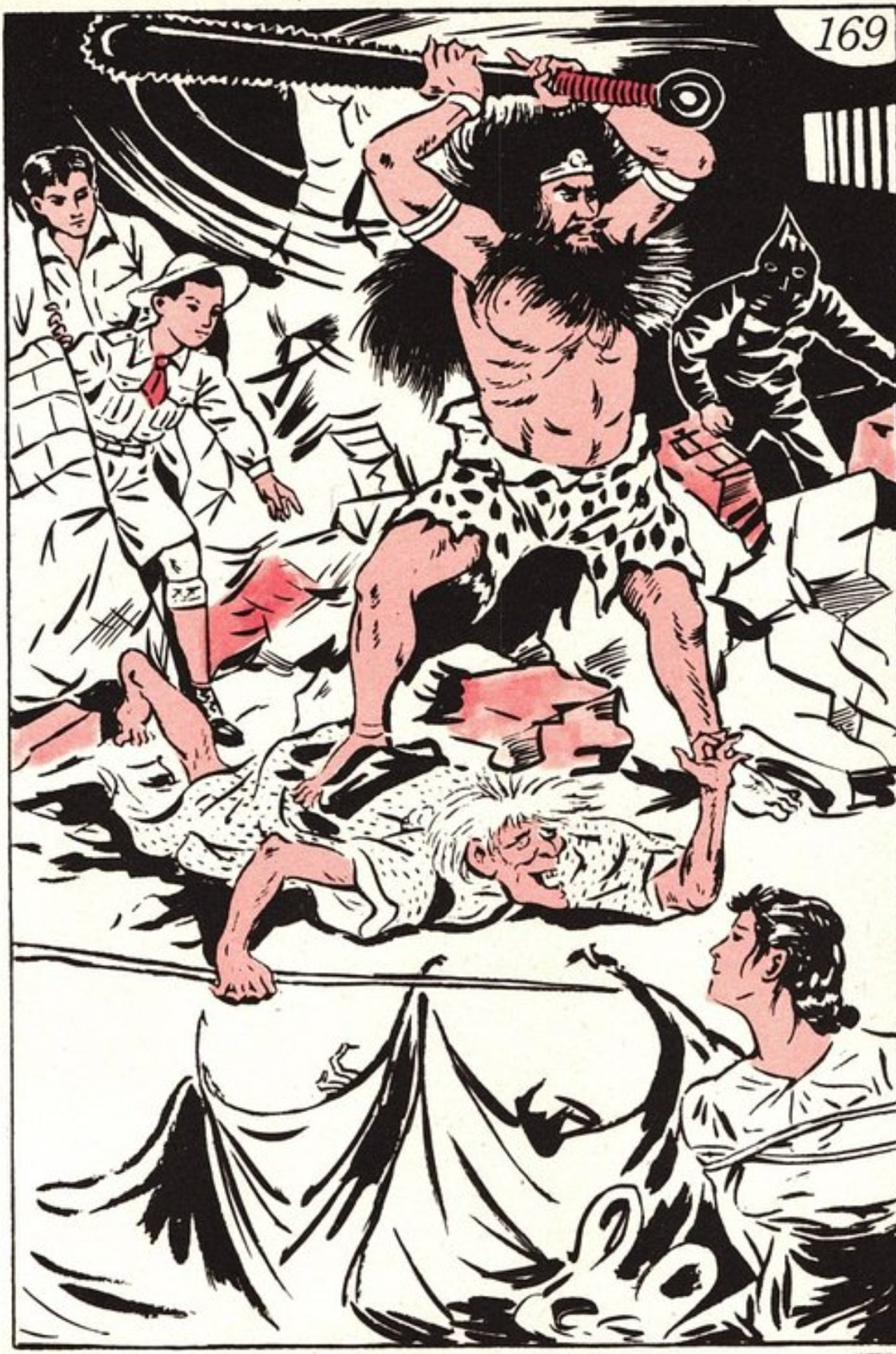

156


157
やい
大木さんたちの入れられている牢へつれていけ！
158
ここです
みんなここに入れられているのです
159
おれは蛇王だ
大木さんを助けにきた
あれっ！
へんなやつがとびこんできた
じゃまをするとただはおかないよ


160
さあ
さあ
そっちは
あとまわし
にして
あの裸男を
やっつけて
おくれ
161
162


163
蛇王のうちおろす鉄棒に、牢屋はこなみじんにうちやぶられてしまった。
164
こわれた牢屋のかたすみから、逃がれ出てきたのは倉田青年であった。
165
倉田さんのおにいさんだったのですか
助けていただいてありがとう蛇王さんは強いのですね


166
やい鬼ばばあまてーっ
わたしゃそんな鉄棒はきらいだよ！
167
ブーン
ブーン
168
蛇王は、たおれていたゆり子夫人を助けおこした。
大木探偵はどこの牢にいますか？


169


170
こしゃくな蛇王め すぐに征伐してくれる みんな つづけ
蛇王というへんなやつが出てきてお熊さんがあぶない
一号牢屋はめちゃめちゃにこわされてしまった


171
黒バットがあやつるあやしいこうもりが、まさるをめがけておそいかかった。あっ、とたじろぐすきに、黒バットはまさるの腕をムンズとつかまえてしまった。
ウハハ　蛇王めてむかいするとまさるの命はもらうぞ
蛇王のおじさんぼくにかまわず黒バットをうちたおしてください


172
ウ ウーン 化け物め しゃれたことをする いま うちのめしてやるぞ
あれっ まさるが! 蛇王さん助けてください
蛇王 足をはなせ はなさないと ひどいめにあわせてやるよ


173
蛇王の投げつけた鉄棒は黒バットめがけて……。
朝日号も怒って黒バットにとびかかった。
174
お熊は、蛇王におさえつけられながら、非常合図のボタンを押した。
175
SOS
SOS
SOS
SOS
SOS
あれ！ おかしらがあぶないらしい助けにいかずばなるまい


176
ハルピンお光は、ぬけ穴をたどって、大木探偵をつれだした。
さあブルタンクのところまでひきずっていっておくれ
177
おかしらがたいへんなんだよブルタンクをすぐだしてちょうだい大木もつれてN県に逃げるのだからね
178
壁をくずして、あらわれたのはブルタンク……。
ブルルン
ブルルン
ブルルン

179

ブルタンクは、黒バットとお熊を救い、大木探偵を、そのするどいツメにひっかけて大空高く舞いあがった。




180
蛇王は ひどいやつだよ わたしは すんでのことに つぶされる ところ だったよ
おかしら しっかりして
おい 下界の ながめは 素敵 だわい
181
奥さん まさるくん 心配する ことはない かならず 大木さんは 助け だすよ
どうしましょう おとうさまを またつれて いかれて
おかあさん 泣かないで ください ぼく 蛇王さんと一緒に がんばります


おっ！宝の島地下国への入り口は　あの島だよ
やっ　あれは　ナゾ島じゃろう
おかしら　おまえさんの足はどうしても　きらなければ　だめだよ
海の中にそびえる　みみずく型のあやしい島。


185
黒バット一味は島に上陸した。
186
よーし！おれはこれからはみみずく型の覆面をしようそして地下の国を支配する王者となり名前もナゾーと呼ぶことにしよう
187
地下国に牢屋をつくれそしておれたちをじゃまするやつはみんなぶちこんでしまうのだ
ブルタンクをつかえばわけはない


188
倉田くん奥さんを東京までぶじにおくってくれたまえ
いろいろありがとう
では蛇王さんもまさるもからだに気をつけてください
189
この上は黄金バットにたのもう彼のいるところはわしの岩穴の中にしまってある
黄金バットのおじさんが出てくれれば百万人力だ
190
蛇王とまさるは、蛇王の岩穴へ帰っていった。


191
黒バット退治にはぜひつれていってください
にいさんはぶじにうちへ帰ったのだからきみも帰った方がよくないかね
192
黄金バットが置いていった箱この中に 彼のいるところは書いてあるはずだ
193
D山に黄金バットは、静かに眠っていると、書いてあった。
194
195
おお 黄金バットは あの下にいるのだ
196
奇怪などくろの形をした岩石が天空にそびえている。


197
どくろ岩の額には、
「世界に暗黒がきたとき、たたけよ。されば正義の味方、
黄金バットはあらわれん。」
ときざみつけられてあった。


198
黄金バットよ
いまこそ世に出る
ときがきた


199
ぱっとうちおろす蛇王の
鉄棒のもと……。

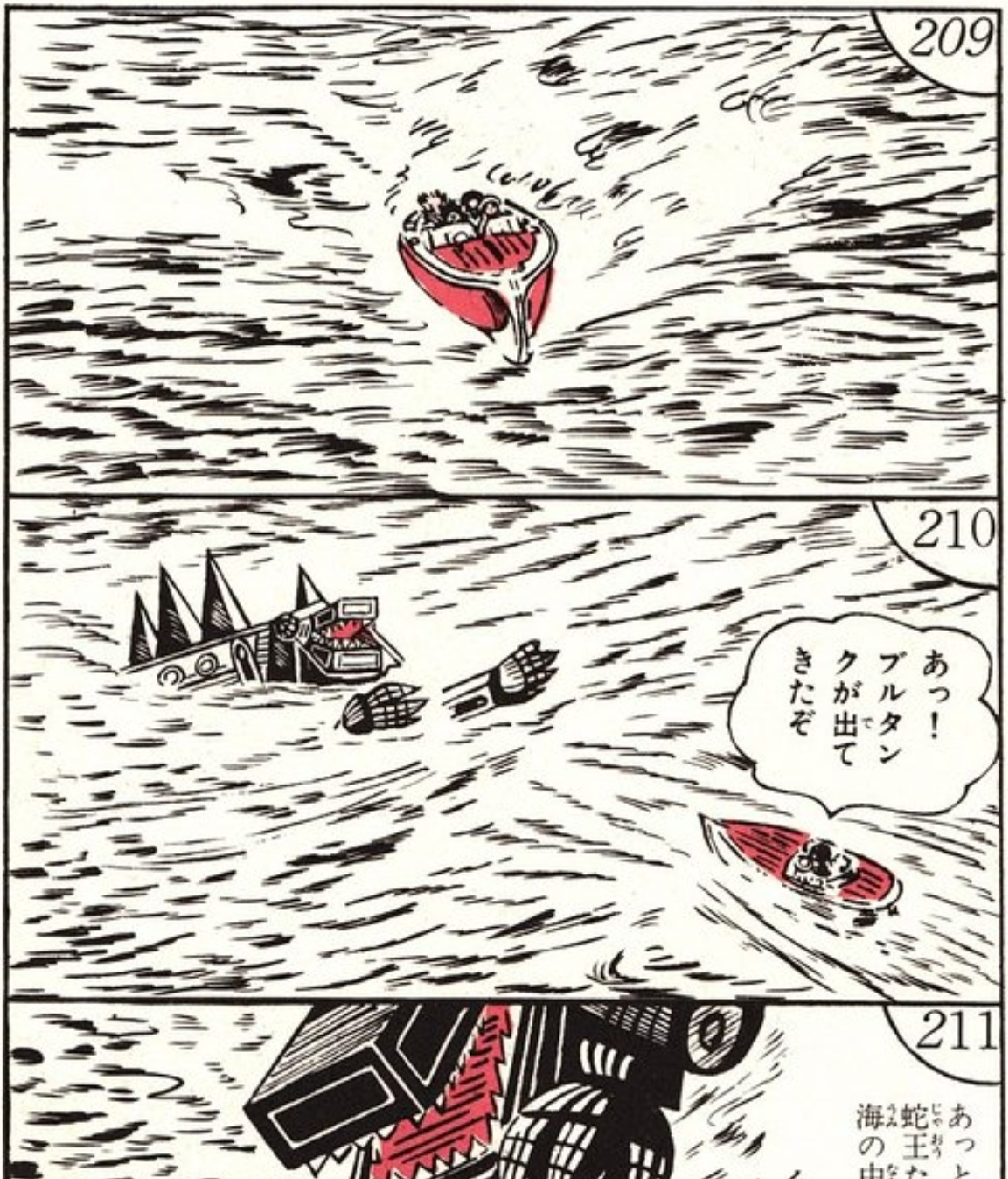

200
どくろ岩はまっ二つに割れて、中からこつぜんとしてあらわれた正義の神、黄金バット。

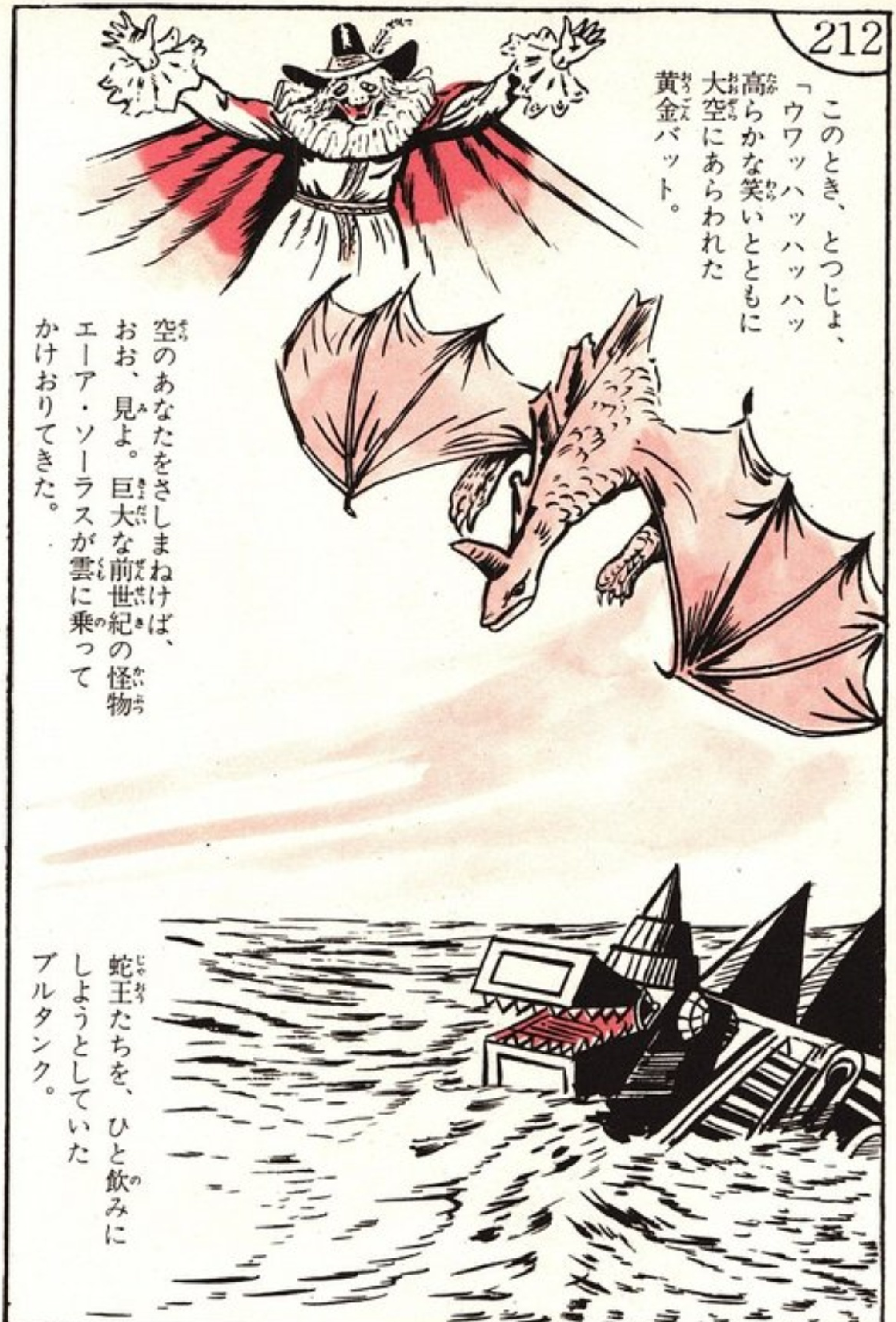

201
蛇王よ　まさるよ
悪をこらすに
おくびょうであっ
てはならぬ
なんじらはただち
にN島へいけ


202
よし
N島へ
いこう
朝日号よ
ごくろう
だが
たのむぞ


203
モーターボートがある黄金バットのおじさんが用意してくれたのだ
204
205
ボートは、ナゾーの住むN島めざして、白波をけたててすすんでいく。


206
あら あやしいな ゴロラン管にあらわれたこの曲線 何者かが島に近づきつつあるとみえるぞ
207
あやしい者がこの島に近よっている
よし テレビジョンで見れば すぐにわかる……
208
蛇王たちだな しょうこりもなく またきたな ブルタンクを出動させよう


209
210
あっ！ブルタンクが出てきたぞ
211
あっというまに蛇王たちはさかまく海の中へ……。


212
このとき、とつじょ、
「ウワッハッハッハッ
高らかな笑いとともに
大空にあらわれた
黄金バット。
空のあなたをさしまねけば、
おお、見よ。巨大な前世紀の怪物
エーア・ソーラスが雲に乗って
かけおりてきた。
蛇王たちを、ひと飲みに
しようとしていた
ブルタンク。


213
怒ったブルタンクは、向きをかえて
エーア・ソーラスに向かった。
エーア・ソーラスは、空から
蛇王たちに浮き輪を投げた。


214
空中高く舞いあがったブルタンクが
エーア・ソーラスをみじんに
くだこうとしたせつな……。


215
エーア・ソーラスの口から白い光がさっと走ったとみるや、ブルタンクは赤く焼けて、海面へ……。
216
助けてくれーい
うっ あつい あつい
217
うわっ ブルタンクがやられた
SOS
テレビジョンに見入るナゾーはおどろいた。


218
ブルタンクは、海中深く沈んでいく。
ドブロクスキー博士、お光、お熊は、
どうなったであろうか。


219
蛇王よ
なんじらは
エーア・
ソーラスに
乗って
きたれ
220
そう蛇王たちに
いい残すや、
黄金バットは、
さっと、空をきって
とび去った……。


221
エーア・ソーラスは、
蛇王たちを救いあげた。
そして、めざすはN島へ……。


222
N島上にとびきたった黄金バット。
223

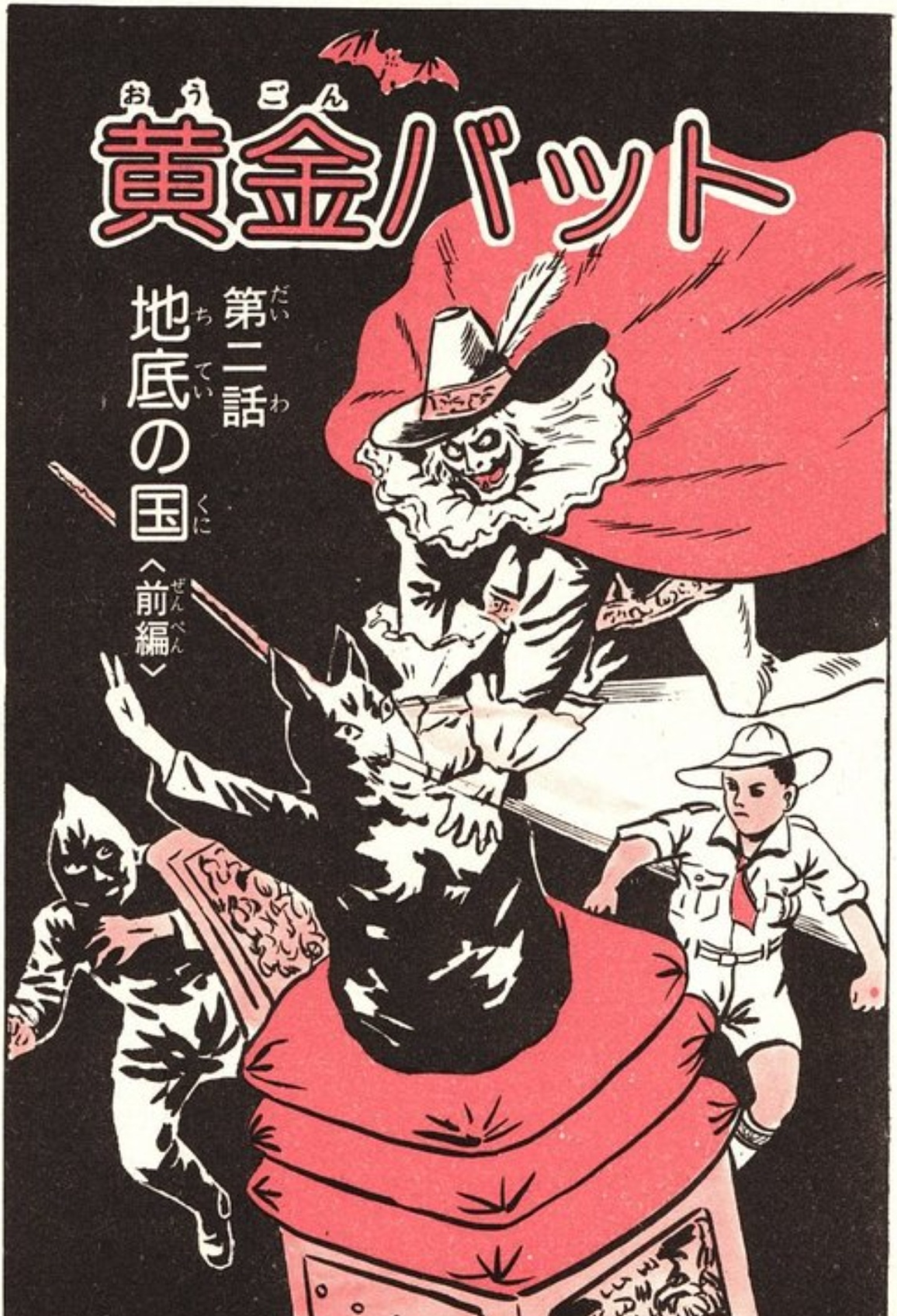

224


225
エーア・ソーラスから降りたった
蛇王たちは、ナゾーの住み家を
さしてすすむ。
226
おかしら たいへんだ ものすごい怪物を つれて 蛇王が きましたぜ
よし すぐ やっっ ける準備を しよう!


227
ナゾーの巣窟めがけて
とびこむ黄金バット。
蛇王の鉄棒に、覆面の子分どもは
けちらされた……。




228
正義の味方、自由の使徒、黄金バットの怒りのもとに、さすが、悪のごんげナゾーも、ひれふしたのだろうか？
黄金バットのおもむくところ、つねに、正を助け、悪をくじく。
彼の活躍を、第二話、黄金バット『地底の国』に期待しよう。


黄金バット
第二話
地底の国〈前編〉



世界の人たちが夢に見る理想の国“地底国”のお話をいたしましょう。地下数千メートルの下に、科学の粋をこらしてつくられたこの国は、自由と平和がみちあふれ、すべての人たちは美しい花園のようなこの国で、楽しく暮らしていました。

この地底国の入口をさがしあてた悪者ナゾー一味は、無限のこの国の宝物をねらってしのびよってきたのです。

世界の平和を願う正義の味方黄金バットは、決然とたってナゾーとたたかうことになった。正義は栄え、悪は永久にほろびる。本編はここにはじまるのです。


3
ブルタンクは、N島めざして海の中を進んで行く。
4
ああ くるしかった わたしゃ 死ぬかと思ったよ
ドブロクスキー先生のおかげでたすかったよ
なあに わたしが ついていれば しんぱいない


5
6
7
あら蛇王たちがもう来てあばれているらしいわ
うわーこれはかなわんわい


8
数万人の部下をつかって、世界の平和をみだそうとする悪者ナゾーを、黄金バットはうちたおそうとするのだ。
怒りのまなこものすごく、ナゾーめがけて黄金バットはとびかかった。



黄金バットの手がナゾーにのびたとたん、



ナゾーの姿はぐったりとくずれて、たおれてしまった。



中からあらわれたのは、紙片をくわえたどくろだった。


12
黄金バットよ，むだな手むかえはやめよ。じゃまをするものは みな うちたおしてしまうぞ。
おれたちは地底国へいく。
ナゾー
13
「にがしたか」と
くやしがる
黄金バット。
14
大木探偵はだいぶ弱っていますな
おとうさんをたすけだしました
そうか
それはよかった
だがナゾーは
逃がしてしまった


16
15
少し痛い目をみせてやろうかい
とつじょ！ 黄金バットたちが立っていた床が、大きな音をたててくずれ落ちていった。四人はまっさかさまに……。


17
そこしれぬ深い穴へ落ちていく。
18
岩穴の入口に姿をあらわしたブルタンク。
19
おまえたちはブルタンクでエーア・ソーラスをやっつけろ


20


21
大空高くまいあがった
エーア・ソーラスとブルタ
ンクの、火の出るような
大格闘はつづけられていく。


22
黄金バットたちよ思い知ったか
23
おちるおちるさすがの黄金バットもこんどはまいったろう
24
底しれぬ深い穴に落ちていく四人の運命はいかに？　してやったりとよろこぶナゾーたちは、さらにおそろしい第二の手段を考えている。


26
25
それっ！落とせ！
ドドーン、ドドーン。ナゾーの命令一下、天井の岩壁は、落ちていく四人めがけてくずれかかった……。
27


28
エーア・ソーラスの口から、
さっと一条の光線が……。
29
みるみるブルタンクの方向探
知機は焼かれてしまった。


30
方向を失って、グルグル回りながら落ちていくブルタンク。
31
死にものぐるいで逃げるブルタンク。SOS……。


32
33
えんえんと天をこがす炎、ついにブルタンクの最後のときがきた。
34
いまいましいエーア・ソーラスめ なんとかやっつけてやる
はやく逃げないとあぶないよ


35
ブルタンクは焼かれてしまったよ！
ウワッ！ほんとうかい！
36
博士よ あれがこわれてはこまるな なんとかしてくれ
おかしら心配なさるな いくらでも新しいのをつくってしんぜる！
37
いよいよナゾーさまは地底の国へおでましだ
限りなき地底国のたからものはおまえたちの望みしだい分けてとらせるぞ しっかり働いてくれ！


38
黄金バットも
これで
まいったろう
じゃまものが
いなくなって
しまえば
もう
安心だ
フフフフ……
いいきみだこと
いよいよ
わたしたちの
天下ね
無残にも、数千メートルの地下に埋められてしまった大木探偵ら四人の生死は、はたしてどうなったであろう。正義の味方黄金バットにも、ほどこすすべはなかったのであろうか？


39
静かにしろ!
この娘とライオンとがうろついていましたぜ ライオンは逃がしましたが……
ごくろうだった 倉田の娘だろう
40
こら! かず子 黄金バットも まさるも みな死んでしまったぞ おまえも おれの手下になって おとなしく働け さもなくば たすけるわけにはいかない
41
はい! なんでもいうことをききます
「あの強い黄金バットのおじさんたちが、ナゾーなんかに負けるはずがない。きっと、そのうちにたすけてくれるのにちがいない。」と、かず子はかたく信じていた。


42
蛇王よ！　まさるよ！
上から岩が落ちてくる
蛇王よ
この横の岩に秘密の
通路があるから
押してみよ
はやくしないと
あぶないぞ
黄金バットは、手に持った黄金杖で
岩壁の一点をゆびさした。


43
蛇王は、力いっぱい岩を押した。
44
ぽっかりとあいた横穴。そこへからだをかわしたとたん、ものすごい勢いで岩が落ちてきた。
45
横穴をつたわって、四人は進んでいく。

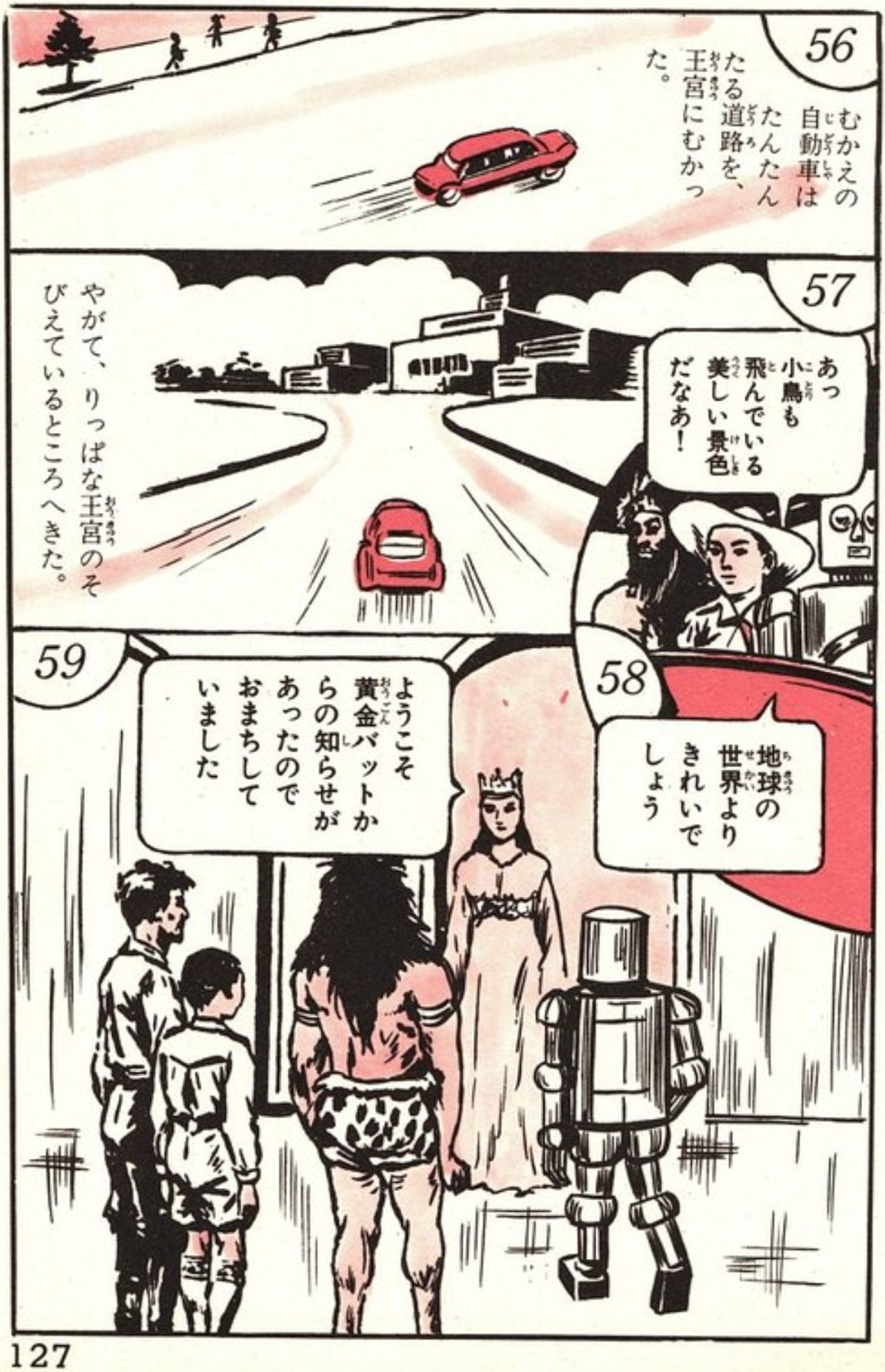

46
進んでいく四人の前に、ぽっかりと明るく光のさしているところがあった。
47
おお！これぞまさしく地底国の入口である…。
人類が夢にえがく理想の文明都市が、光さんぜんと、いま四人の目の下に浮かんでいるのだった。


48
数千年の昔　みにくい地上の戦いをきらって地底にくだった民族が　平和と自由にめぐまれた一大文明の都会をつくった　地下の豊かな資源を使って　科学的な理想の国が生まれた　いまや　ナゾーの魔の手がこの平和の国にのびようとしている　なんじらは　ナゾーの手から彼らを守らねばならぬ
ぼくらは　どんなめにあっても　ナゾーをたおすため　がんばります


49
いさましいまさる！蛇王たちよ！なんじらの力にあまるときはこの器械にむかってわしを呼ぶがよい
やがて地底の国のシマ女王がなんじらを招くであろうしばし待つがよいぞ！
50
すばらしい小型無線器だ送信も受信もできるしかけだ


51
黄金バットは地底国へむかって、風のようにとびおりた。
52
地底国の上にあらわれた黄金バット……。
人工光線によって、昼のように明るい地底の都市。


53
おやっ！へんなものがあがってきたぞ
54
シマ女王のおつかいできましたどうぞわたしについておりてください
数千メートルの下方から、するするとのびてきた地底国のはしご。
55
人間とも機械ともつかぬ、不思議なものがあがってきた。これぞ、まさしく地底国人なのだ。


56
むかえの自動車はたんたんたる道路を、王宮にむかった。
57
やがて、りっぱな王宮のそびえているところへきた。
あっ小鳥も飛んでいる美しい景色だなあ！
58
地球の世界よりきれいでしょう
59
ようこそ黄金バットからの知らせがあったのでおまちしていました


60
ナゾーから悪い手紙がきたので心配していたところです あなたがたのような正しく強い方に来ていただいて ほんとうにたのもしいと思います
よろしくお願いします おとうさんはからだが弱っているのです
61
シマ女王よ、地底国をわれらにわたせ。さもなければ おまえの国ははかいしてしまうぞ。ナゾー
シマ女王よ、なんじの国は悪人ナゾーにねらわれている。善良なる地表の人々と協力して これをふせぐがよい。黄金バットより
62
この国には 昔から「黄金なす人に あらざる人きたりて 良き人々と ともに理想の国をうちたてん」という いいつたえがあるのです おとうさんはゆっくり養生してください よい医者がいます



すべての人々が、自由で、わけへだてがなく、科学の粋をこらした、平和な生活を楽しんでいたこの地底の国も、ナゾーの出現により、その平和はかきみだされようとしている。まさる少年や蛇王は、黄金バットと力をあわせて、この花園のような国を守りとおせるだろうか。地底国の人々は、ナゾーの恐ろしい手紙を知って、恐れ、おののいていた……。

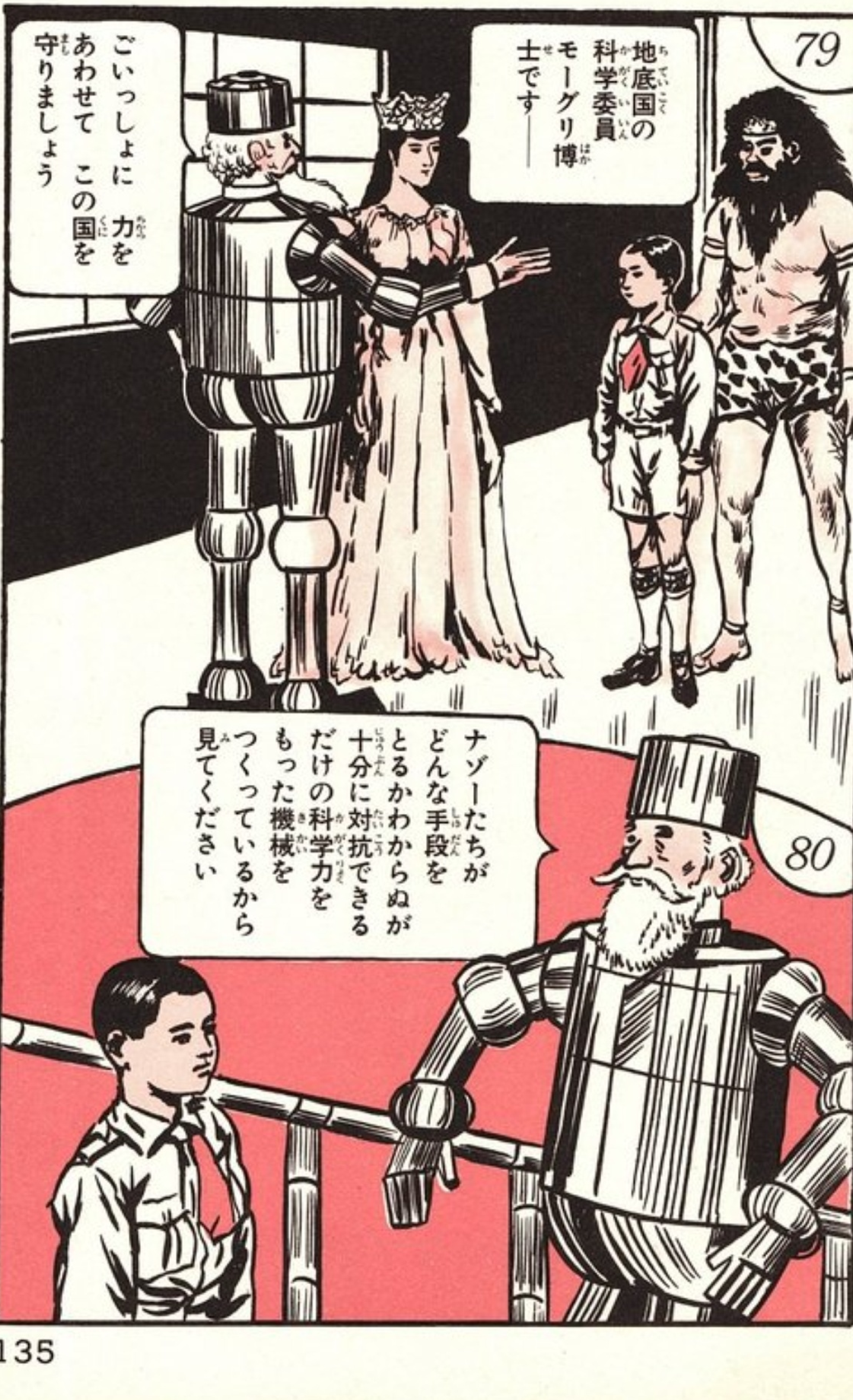

64
ある日、地底国の上に、おびただしい黒こうもりの群が飛んできた……。
65
入口は三方にあるようだな
ずいぶん変なかっこうのやつがいるぜ
こうもりの群が写してきた地底国の写真をもとに、ナゾーたちは相談した。
66
ドブロクスキーよブルタンクはおしいことをしたな
ブルタンク以上に強いやつをいまつくっていますぜ喜んでください


67
ううん これは すばらしい はやく 完成してくれ
68
地底国でも ものすごい 機械を つくってる ようです
なに ほんとうか 場所はどこか うん うん わかった
69
何 むこうも つくりだした とな?
こうもり隊長 からの報告 第一号には…


70
よし　その工場で
働いているやつを
ひとりひっさらって
くるように
隊長につたえよ
71
地底国の工場の上に
あらわれた大きな
黒こうもり。
72


73
74
たすけてくれーい
75
そいつの着ている物をはがしてしまえ
おい地下工場で何をつくっているかしゃべってしまえ
わたしはなにも知りません


76
あれっ！　こしかけたままで動いていくぞ
この国では地熱エネルギーを利用して道路を動かしていますから……
人々は早く安全に仕事場に行けます
きょうは　モーグリ博士のところへ行きましょう
77
わたしたちは暑さも　寒さも　雨も　風も　雪も　みんな人工でつくっています
78


79
地底国の科学委員モーグリ博士です――
ごいっしょに　力をあわせて　この国を守りましょう
80
ナゾーたちがどんな手段をとるかわからぬが十分に対抗できるだけの科学力をもった機械をつくっているから見てください


81
まさる君　わしはいま
新しい機械をつくろう
としているのじゃ
これができあがれば
ナゾーたちが
いくらやってきても
地底国を
守りとおせると
思っているよ
82
地底国のずうっと西の方の地の下に
まだ　だれも手をつけていない
金銀・宝石の大鉱脈があると
われわれの祖先からの　いいつたえがあった
その　あり場所をしるした土器が
いまから　千年ばかり前の大地震いらい
バラバラになってしまった
わしたちは　それを見つけて　その宝物を
発見しなければならない
ナゾーも　それを目当てにやってきたのだ
このさい　ぜひ　きみたちと力をあわせて
その鉱脈を見つけましょう


83
モーグリ博士の話がつづいているとき、窓にうつった、あやしい黒い影ふたつ。
84
先生たいへんですプクちゃんが大きな黒こうもりにさらわれてしまいました
それはナゾーのこうもりです
85
いよいよナゾーたちがやってきたな守りを厳重にしなければならぬ

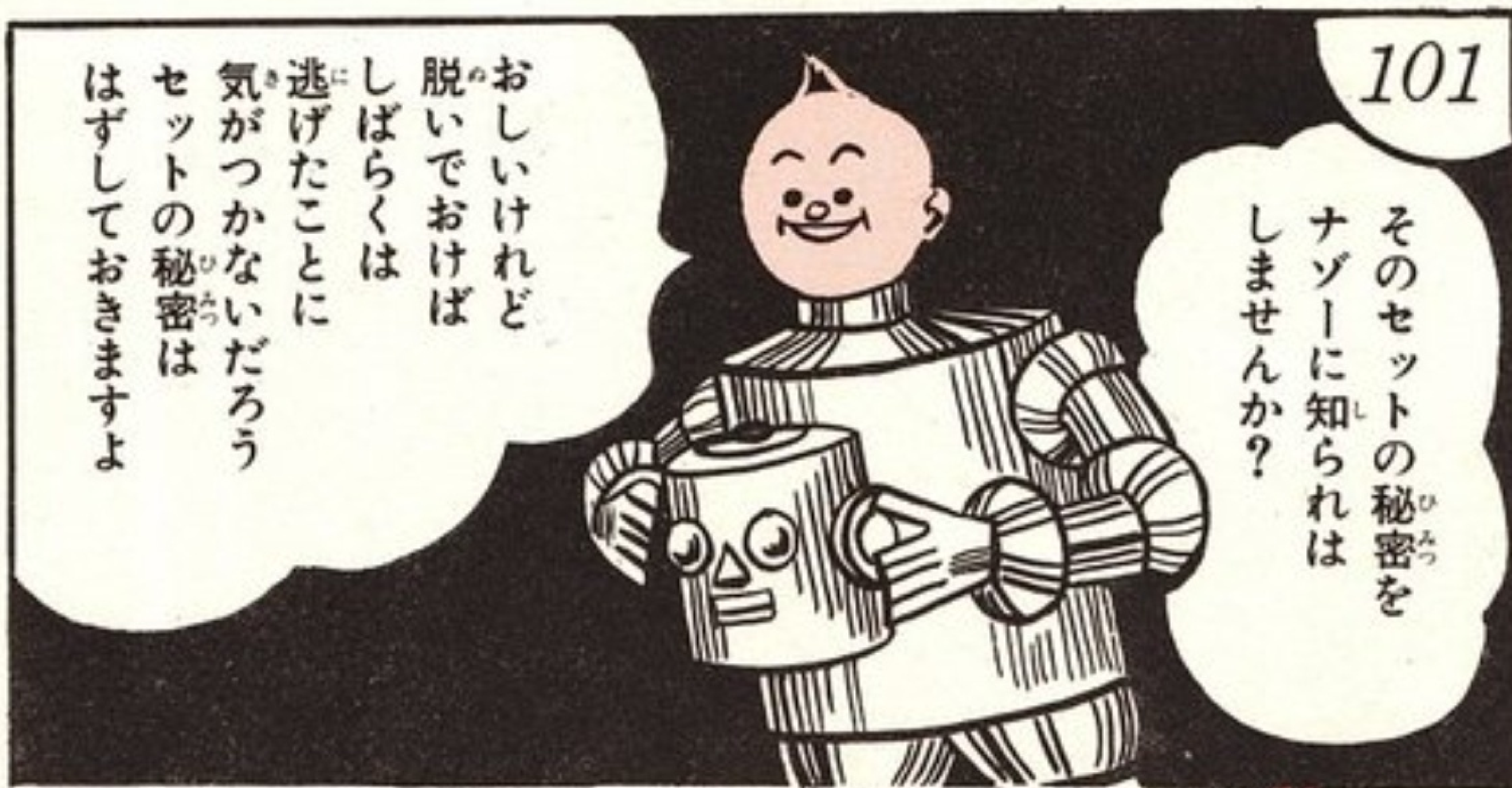

86
変なかっこうをしているな
このセットはどうしたら脱がせられるのか　わからぬ
87
やい！正直に白状せい
なにもいわぬか強情なやつめ！
88
いたいっ！なんてかたい金属だろう手がしびれてしまった


89
しかたがない 牢に入れておけ そのうちに白状させてやる
90
91
ウフフフフフ! ぼくのマスクやセットは地底国人でなければとれないよ!

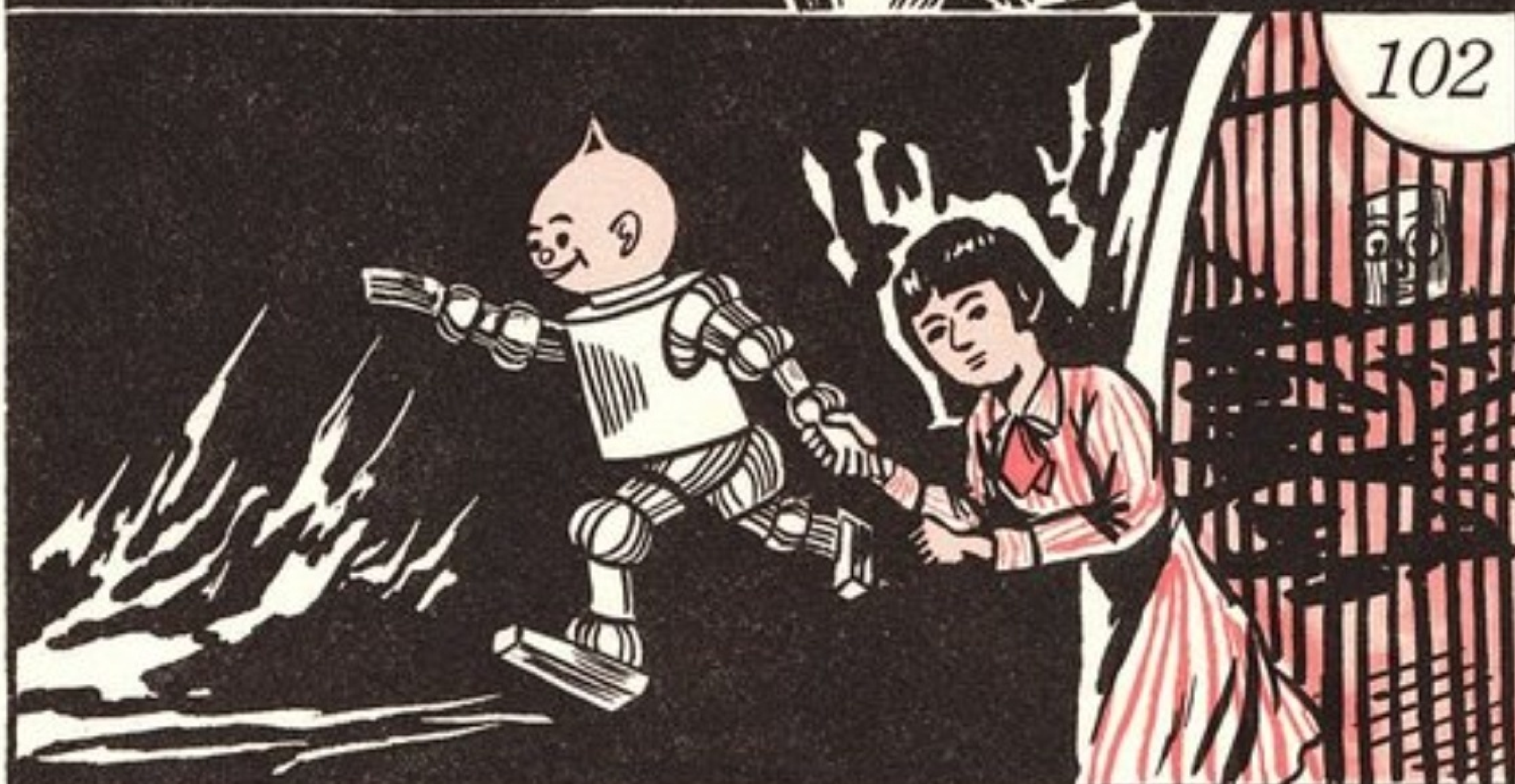

92
あらっ！ わたしはナゾーに つかまえられているのよ
かわいい女の子だ あなたも ナゾーの仲間なのですか？
93
わたし かず子です 逃げたいけれど お熊ばあさんが 鍵を持っているのよ
ぼくは 地底国の ブクちゃんです なんとかして逃げたいものですね 鍵を手にいれたいものですね
94
そのばあさんの 特別好きなものは なんですか それがわかれば くふうします
お熊ばあさんは お酒が だい好きなのよ！


95
それなら わけはないや！ ぼくのおなかに 粉末ウイスキーが はいってますから　それを 水で溶かして　その中に 眠り薬を入れて お熊ばあさんにやればいい 眠っているあいだに 鍵をとって ふたりで 逃げましょう
96
ぼくの おなかの戸を あけると　黄色の袋が あります　それが ウイスキー粉です
あなたのおなかには いろんな物が はいっているのね
97
牢屋は　寒くて しようが ないよ
あら！ うれしいね！ おかしらは 気がきいて いるよ！
おかしらが ウイスキーを くださったわよ！


98
お熊は、いい気持ちで眠ってしまった。
かず子は、机の上の鍵を手にいれた。
99
まあ　よかった　おばあさんが目をさまさないで……
100
さあ　鍵をとってきましたよ　はやく逃げましょう
よかった　どうもありがとう



101
そのセットの秘密をナゾーに知られはしませんか?
おしいけれど脱いでおけばしばらくは逃げたことに気がつかないだろうセットの秘密ははずしておきますよ



102



103

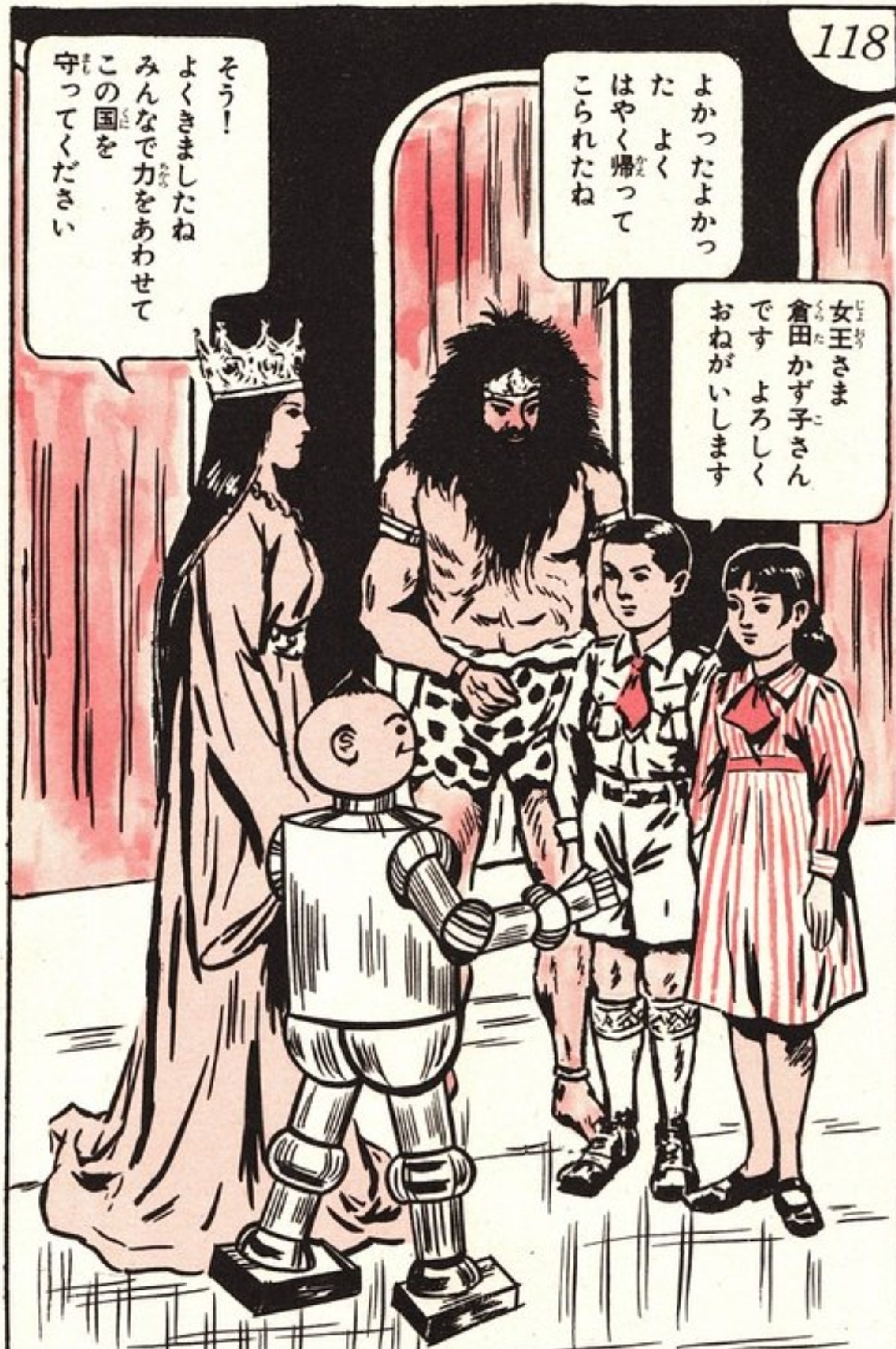

104
こうもり第二号が帰りました
よしすぐ現像せよ
105
これはよい写真を写してきたさっきの捕虜をつれてこい聞いてみよう
106
おかしらのご用だ出てこい
岩を枕に寝ているよずうずうしいやつだ


107
あれ　まあ
からっぽの
面だけだよ
あ！
逃げられた
108
109
あなたの
おなかには
気球もはいって
いるのね
しっかり
ぼくにつかまって
いらっしゃい
これに乗れば
地底国へ
帰れますよ


110
ばかめ！だいじなやつを逃がしてしまってすぐ追いかけろ
すみません黒こうもりに追いかけさせます
ドブロクスキーを呼んでこい
111
なるほど地底国でもすばらしい機械を発明したなよい参考になるわい
112
いよいよ地底国ゆきだはやくその準備をたのむよ


113
黒こうもりが、逃げるふたりにせまったとき、
地底国人とまさるが、おりよく迎えにきた。
「あっ！　あぶない。」
114
地底国人がうちだす電気銃にうたれて、黒こうもりは焼けながら落ちていく。


115
ぼくはマスクをおいてきたけれどかず子さんを救ったからゆるしてね
あっ！ まさるさん わたしナゾーにつかまっていたのよブクちゃんにたすけてもらったのよ
ぼく とてもしんぱいしていたのです逃げられてよかったね
116
地底国の女王さまはよいかたですよすぐごあいさつにいきましょう蛇王おじさんもいます
117
ずいぶん便利な地底国ね


118
よかったよかった よく はやく帰って こられたね
女王さま 倉田かず子さん です よろしく おねがいします
そう! よくきましたね みんなで力をあわせて この国を 守ってください


119
ありがとうございます
あなたはしばらくマスクをかぶらないでまさるさんたちのおあいてをなさい
120
おとうさまごきぶんはいかが？
わたしプクちゃんにたすけていただいたの
ありがとう！もうほとんどいいのだよ
121
おとうさんも今度はがんばるよ
ちかいうちにナゾーたちがやってきます


122
そのころ、モーグリ博士の部屋にすいついていた黒こうもりを、だれも気がつかなかった。
123
ナゾーの手紙だ
まさるくん
どうしよう
124
モーグリ博士よ,
なんじが つくりつつ
ある きかいの せい
さくを やめよ。
やめねば, なんじの
生命は あぶないもの
とかくごせよ。
ナゾー
125
先生 いよいよ
ナゾーがやって
きましたね


126
——と、そのときである。とつじょ、
「ウワッハッハッハッ！」高らかな笑いと
ともに、ふたたび地底国にあらわれたのは、
おお、われらの黄金バットだ!!
さあ、はたして黄金バットは
どんな活躍をするか？
このつづきは下巻をどうぞ!!

（下巻につづく）



永松健夫（本名武雄）略歴
○大正元年3月1日生まれ
○大分県中津市福島小平出身
○芝浦高等工芸学校図案染色科卒業
○昭和36年11月17日死去（享年49歳）
○代表作＝「アトムボーイ」「日輪童子」ほか多数

コミック45
黄金バット（上巻）

昭和53年1月1日発行

著者© 永　松　健　夫
発行者 今　井　堅
印刷所 大日本印刷株式会社
発行所 株式会社 少年画報社
〒101東京都千代田区三崎町3－3－12
電話（262）3501（代）　振替東京20260

黄金バットの初版本

黄金バット第一巻「なぞの巻」が発行されたのは昭和二十二年十一月で、二十四年三月までに第二巻「地底の国」第三巻「天空の魔城」第四巻「彗星ロケット」の四冊が発行された。発行所は少年画報社の前身の明々社であった。各冊とも百ページほどで、戦後まもないため、印刷も用紙も現在とは比較にならないものであった。定価は一巻が三十五円、二・三巻が四十円、四巻が六十五円であった。



⇧第三巻「天空の魔城」の奥付


黄金バット

上巻

第一話 なぞの巻 第二話 地底の国〈前編〉



永松健夫



少年画報社

＊表紙および表紙カバーは、初版本をもとにして、丸山元博が模写したものです。

戦後最初の
劇画復刻版

黄金バット



上巻

永松健夫

少年画報社

COMIC45



雑誌3711

●少年画報社　¥650